opusdei.org

司祭職に生涯を捧げることは素晴らしい ことです

アルマンド・ラサンタは1990年に叙階されました。彼はリオハにある人口2,00 0人の町アルベリテの教区司祭である。

2006/09/11

私にとって、オプス・デイ創立者は、たいへん優れた模範となりました。いつも言われていたことは、「第一に、聖務日課、祈りにおける

主との交わり、ミサ聖祭を捧げる、 人々に対して些細なことにも気をしてとい病人を見舞うこと・・です。私は師から、方を伝えてもこと、楽観的な考え方を伝えてもまってと、逆境のただ中にあずでいることの大切さを学われている。「全てが善のために」と言われていました。そして、師自身が愛徳の手本でした。

私はまた、オプス・デイ創立者か ら、形成はイエス・キリストとの交 わりに向けられていなければならな いことを学びました。人々がイエ ス・キリストを愛し、キリストに近 づくように。そのためには、教会の 聖櫃は生活の中心でなければならな い。司祭にとってだけではなく、 人々にとってもそうです。人々が聖 櫃の内におられる主を身近な方とし て、人々が訪れ、馳せ寄ることがで きる方と感じられるように。私は、 ご聖体を清い心で受けるべきこと、 必要であればゆるしの秘跡で罪のゆ るしを得た後で受けるべきことを、 全ての人が心に留めるよう努めてい ます。そしてまた、私達の母である 聖マリアに馳せ寄るよう勧めます。 ここリオハの地のように、聖母マリ アをとても崇敬している所では、聖 櫃におられるイエス様と共に、マリ ア様を彼らの生活の中心に置くよう に勧めています。

私も、聖十字架司祭会で受けた形成のおかげで、教会、教皇様、教導職に対する愛が形成を受ける度に、より大きくなっていきました。イエス・キリストに対する教皇ヨハネ・パウロ2世の大きな深い信仰を知り、感銘を受けました。教皇様は、ご自身を教会に捧げ尽くした方です。

pdf | から自動的に生成されるドキュメント https://opusdei.org/ja-jp/article/si-ji-zhi-nisheng-ya-wopeng-gerukotohasu-qing-rashiikotodesu/ (2025/11/21)